

令和7年度 宮崎県中学校体育大会 地域クラブ活動の参加の特例 各競技細則

【共通事項】

- ◎ 宮崎県在籍から他県の中総体へ参加することはできません。また、他県在籍から宮崎県中総体への参加はできません。
- ◎ 県大会からの出場になりますので、中体連地区大会への出場はできません。
- ◎ 同一団体から複数チームの参加はできません。
- ◎ 県大会申込から九州大会・全国大会まで、出場団体の変更はできません。（総合大会）
- ◎ 複数チームへの監督・コーチの登録はできません。（新体操・体操のコーチは複数チームへの登録を認めます。）
- ◎ 「令和7年度全国中学校体育大会地域クラブ活動の参加資格の特例競技部細則」に準じます。

	競技名	地域クラブ活動の参加		団体（リレ）出場の条件	地域クラブ活動の 協会・連盟登録の義務	指導者の公認 資格の有無	その他の条件
		個人	団体（リレ）				
1	陸上	○	△	リレは、「地域移行モデル地区や自治体主体で地域移行を進めるために発足した地域クラブ活動」または、「地域移行の受け皿となっている地域クラブ活動」で参加できる。 <u>（複数の中学校からの選手を選抜等によって編成されたチームは除く）</u> 登録メンバーが同一学校に限り、地域クラブ活動所属での参加ができる。	日本陸上競技連盟への団体登録	どちらでも○	●複数の種目（リレを含む）に出場する場合、種目によって異なる所属から出場することはできない。 ●参加の判断は県中体連事務局及び県中体連陸上専門部が行う。
	駅伝		△	駅伝は、「地域移行モデル地区や自治体主導で地域移行を進めるために発足した地域クラブ活動」、「地域移行の受け皿となっている地域クラブ活動」のいずれかの地域クラブ活動の所属から参加できる。 <u>（複数の中学校からの選手を選抜等によって編成されたチームは除く）</u> 登録メンバーが同一学校に限り、地域クラブ活動所属での参加ができる。			●複数の所属から参加することはできない。 ●参加の判断は県中体連事務局及び県中体連陸上専門部が行う。
2	水泳	○	○		（公財）日本水泳連盟への団体登録	どちらでも○	
3	バスケットボール		△	地域移行モデル地区や自治体主体で地域移行を進めるために発足した地域クラブ活動、地域移行の受け皿となっている地域クラブ活動は参加可。ただし、対象の地域クラブ活動は <u>単独又は複数の中学校単位で編成されており</u> 、日常的に活動が持続されている場合に限る。 ※ 詳細は下記参照	中央競技団体もしくは宮崎県バスケットボール協会に登録されていること。	どちらでも○	●参加の判断は県中体連事務局及び県中体連バスケットボール専門部が行う。
4	サッカー		△	U15チームがクラブユース連盟に加盟していないこと。（クラブユース連盟に所属しているクラブ内からは、U15チーム及びセカンドチームも出場できない）	JFAへのチーム登録	どちらでも○	
5	ハンドボール		○		日本ハンドボール協会へのチーム・個人登録	どちらでも○	●日本ハンドボール協会が主催する全国クラブ大会および予選大会（地区大会含む）に参加した場合は中学校体育連盟が主催する全国中学校体育大会および予選大会（地区大会含む）への出場は認めない。 ●合同チームについては、宮崎県中学校体育連盟の規定に準ずる。

	競技名	地域クラブ活動の参加		団体（リレ）出場の条件	地域クラブ活動の 協会・連盟登録の義務	指導者の公認 資格の有無	その他の条件
		個人	団体（リレ）				
6	軟式野球	/	○		宮崎県軟式野球連盟への加盟	①日本スポーツ協会公認コーチ（軟式野球） ②日本スポーツ協会公認コーチ3（軟式野球） ③BFJ公認野球指導者基礎Ⅰ（U15） ※監督の保有を必須とするが、保有していない場合には、コーチ（日常的に指導に関わり、メンバー登録される者）のうち最低1名の保有を必須とする。	●大会運営、審判員派遣の依頼に対応できる人員を確保している。 ●審判員については、「一般財団法人全日本野球協会アマチュア野球規則委員会公認3級審判員」以上の保有を必須とする。
7	体操		△	団体参加の場合は「地域移行モデル地区や自治体主導で地域移行を進めるために発足した地域移行クラブ活動」、「地域移行の受け皿となっているクラブ活動」又はすべての選手が同一校に在籍していること	宮崎県体操協会に登録されていること。	どちらも○	●宮崎県にブロック大会団体出場枠が複数与えられている場合、少なくとも1枠は学校登録団体とする。学校登録団体がない場合には地域クラブ活動登録団体から補充する。 ●地域クラブ活動に所属していない同一校の他の生徒が学校で団体を組み大会に参加することができる。ただし、同一校生徒により構成された2つの団体のうち上位団体のみがブロック大会に進むことができる。 ●団体と個人で異なる所属からの出場はできない。 ●参加の判断は県中体連事務局及び県中体連体操専門部が行う。
8	新体操男子		○		日本体操協会の所属団体登録をしている。	日本体操協会への指導者登録	●同所属からのエントリーのみ個人・団体の両方に出場することができる。 ●監督は登録以外の他の所属として参加することはできない。 ●団体と個人で異なる所属からの出場はできない。 ●参加の判断は県中体連事務局及び県中体連新体操専門部が行う。
	新体操女子	○	△	団体参加の場合は「地域移行モデル地区や自治体主導で地域移行を進めるために発足した地域移行クラブ活動」、「地域移行の受け皿となっているスポーツ団体等」又はすべての選手が同一校に在籍していること	日本体操協会の所属団体登録をしている。	日本体操協会への指導者登録	
9	バレーボール	/	○	中学校の部活動チームが大会に参加する場合、その中学校の生徒のみで編成された地域クラブ活動の参加は認めない。	JVA-MRSへのチーム・個人登録	JSP0公認指導者資格（成人） ※R7. 3. 31までは取得期間	●募集要項やホームページ等で公募していること。 ●年間を通じて、日常持続的週単位に練習している場所と所在地が一致していること。 ●チームや団体として規約があること。 ●各種大会に大会役員として派遣できる指導者がいること。

	競技名	地域クラブ活動の参加		団体（リレ）出場の条件	地域クラブ活動の 協会・連盟登録の義務	指導者の公認 資格の有無	その他の条件
		個人	団体（リレ）				
10	ソフトテニス	○	○		宮崎県ソフトテニス連盟への登録	日本スポーツ協会公認「コーチ1」以上の資格を有する者が在籍しており、大会においてベンチ入りする者はその資格保有者であること。（R6から適用）	団体と個人で異なる所属からの出場はできない。
11	卓球	○	△	団体戦については、「地域移行モデル地区や自治体主導で地域移行を進めるために発足した地域クラブ活動」、「地域移行の受け皿となっている地域クラブ活動等」とする。	日本卓球協会、宮崎県卓球連盟の登録及び年会費の支払いを行うこと。	日本スポーツ協会公認スポーツ指導者（卓球公認コーチ1以上）を取得していること（令和6年度末までに取得し、資格取得者が必ず1名は在籍していること）	●団体と個人で異なる所属からの出場はできない。 ●参加の判断は県中体連事務局及び県中体連卓球専門部が行う。
12	バドミントン	○	○		日本バドミントン協会・宮崎県バドミントン協会会員登録及び年会費支払いを行うこと。	●日本バドミントン協会公認審判員資格3級以上を取得していること。（取得が困難な場合は、宮崎県の審判講習会に参加すること） ●R8からは日本スポーツ協会公認スポーツ指導者資格所持者が最低1名は所属していること。	●シングルス・ダブルスを兼ねて出場することはできない。 ●1つの活動母体から登録できるのは1チームのみとする。 ●団体と個人で異なる所属からの出場はできない。
13	ソフトボール		○		日本ソフトボール協会へのチーム登録	どちらでも○	
14	柔道	○	○	●チームとして「団体登録」を済ませている。 →団体戦に出場可 ●競技者として「競技者登録」を済ませている。 →個人戦に出場可	宮崎県柔道連盟を通して全柔連に加盟、登録を済ませている。	大会の引率、監督、帯同コーチは、全柔連公認指導者資格を有していなければならない。	●柔道修業期間を6か月以上経過した中学生のみ、大会に参加することができる。 ●団体と個人で異なる所属からの出場はできない。
15	剣道	○	△	団体戦については、地域移行モデル地区や、自治体主導で地域移行を進めるために発足した地域クラブ活動、地域移行の受け皿となっているクラブ活動とする。	中央競技団体もしくは宮崎県剣道連盟に登録されていること。	どちらでも○	●団体と個人で異なる所属からの出場はできない。 ●参加の判断は県中体連事務局及び県中体連剣道専門部が行う。
16	相撲	○	○		中央競技団体もしくは宮崎県相撲連盟に登録されていること。	どちらでも○	●団体と個人で異なる所属からの出場はできない。

	競技名	地域クラブ活動の参加		団体（リレー）出場の条件	地域クラブ活動の 協会・連盟登録の義務	指導者の公認 資格の有無	その他の条件
		個人	団体（リレー）				
17	弓道	○	○		中央競技団体もしくは 宮崎県弓道連盟に登録 されていること。	どちらも○	●個人戦の参加は、団体編成ができない場合のみに限る。 ●中体連主催大会としては県大会まで。
18	ジュニア・ラグビー		○		中央競技団体もしくは 宮崎県ラグビー協会に登録されていること。	①安全・インテグリティ推進講習会の受講者1名 ②セーフティアシスタント資格保持者在籍 ③J R F Uコーチ資格保有者の在籍1名以上	●中体連主催大会としては県大会まで。
19	テニス	シングルス ○ ダブルス △	△	団体及びダブルスは、登録選手全員が同一学校に所属していること。	中央競技団体もしくは 宮崎県テニス連盟に登録されていること。	どちらも○	●シングルス・ダブルスを兼ねて出場することはできない。 ●団体と個人で異なる所属からの出場はできない。 ●中体連主催大会としては九州大会まで。 ●協会主催全国大会は、団体戦の場合、学校名で出場しているチームのみ権利がある。個人戦の場合、学校長が学校名での出場を認めた場合のみ出場できる。
20	空手道	組手 ○ 形 ○	組手 ○ 形 ○		宮崎県空手道連盟に登録された団体・個人であること。	選手及び監督は、（公財）全日本空手道連盟に登録している会員であること。	●団体と個人で異なる所属からの出場はできない。 ●中体連主催大会としては九州大会まで。
21	スキー	○	○		全日本スキー連盟に登録されていること。		複数の種目（リレーを含む）に出場する場合、種目によって異なる所属から出場することはできない。

【バスケットボールの参加条件について（詳細）】

- 地域移行モデル地区や自治体主体で地域移行を進めるために発足した地域クラブ活動
⇒令和6年度：宮崎市・国富町・高鍋町・小林市
地区は該当していても部が対象になっていない地区は該当しない。これとは別に、各市区町村が主導で地域移行を進めている場合にも該当する。
- 地域移行の受け皿となっている地域クラブ活動
⇒単独校での活動が困難であるなどの理由で日常的に活動が持続されており、複数校の生徒が参加する形態で活動している団体を意味する。あくまで地域移行の受け皿が主目的の団体を対象としているため、複数校から一部の選手のみ選抜された形でのスポーツ団体を意味するものではない。